

平城高校OB

奈良県代表

甲子園出場回数 春（選抜）：0回 夏（選手権）：0回 秋（マスターズ甲子園）：1回目

写真・背番号・ポジション・名前 ①年齢 ②甲子園出場経験（高校当時）

1 投・外 寺山 繼介 ①21才 ②なし	2 捕手 千賀 清弘 ①42才 ②なし	3 外野手 山下 莊大 ①21才 ②なし	4 投・内 中田 大志 ①27才 ②なし	5 内・外 山中 勇二 ①33才 ②なし
8 内野手 濱田 光洋 ①50才 ②なし	9 外野手 柴田 峻輔 ①33才 ②なし	10 捕手 吉永 健人 ①25才 ②なし	11 内野手 池見 繁 ①42才 ②なし	12 投・外 藤村 隆司 ①38才 ②なし
14 内野手 新矢 貴司 ①41才 ②なし	15 投・内 佐藤 利秀 ①41才 ②なし	16 外野手 前田 知輝 ①35才 ②なし	18 投手 山本 泰生 ①50才 ②なし	19 投手 鷲尾 侑哉 ①27才 ②なし
20 内野手 久保 佑貴 ①35才 ②なし	21 投・外 勝水 拓也 ①33才 ②なし	22 捕手 内山 拓 ①39才 ②なし	23 内野手 浦野 真実 ①42才 ②なし	25 捕手 奥村 光司 ①33才 ②なし
26 投手 野口 肇 ①57才 ②なし	27 内・外 北谷 大輔 ①24才 ②なし	28 投・外 當麻慎一郎 ①27才 ②なし	29 内・外 吉田 亮平 ①35才 ②なし	30 外野手 中垣 憲治 ①51才 ②なし
32 内野手 竹丸 肇 ①50才 ②なし	33 内・外 横浜 薫 ①50才 ②なし	35 監督 投・内 菊永 裕樹 ①38才 ②なし	36 内野手 吉田 忠司 ①37才 ②なし	38 内・外 小川 飛人 ①37才 ②なし
39 投・内 中川 裕介 ①44才 ②なし	41 内野手 久納 稔多 ①24才 ②なし	42 内野手 澤田 和洋 ①58才 ②なし	43 内野手 竹川 征吾 ①36才 ②なし	44 外野手 當麻 達郎 ①24才 ②なし
47 内・外 今村 彰吾 ①35才 ②なし	48 外野手 松本 航亮 ①24才 ②なし	49 外野手 小林 海斗 ①27才 ②なし	50 内野手 西田 博樹 ①50才 ②なし	51 内・外 扇田 将弥 ①39才 ②なし
52 内・外 西井 健司 ①39才 ②なし	53 内・捕 渡邊 謙介 ①36才 ②なし	54 内野手 中井 健太 ①32才 ②なし	55 投・外 西谷 晟宏 ①27才 ②なし	56 捕手 中辻 翔一 ①36才 ②なし
57 外野手 大場建太郎 ①36才 ②なし	58 外野手 佐野 寛 ①33才 ②なし	59 投・外 針田 康弘 ①39才 ②なし	60 外野手 佐藤 光一 ①55才 ②なし	61 内・外 南部 陽丞 ①39才 ②なし



チーム最年長投手

準々決勝ヒーロー
インタビュー

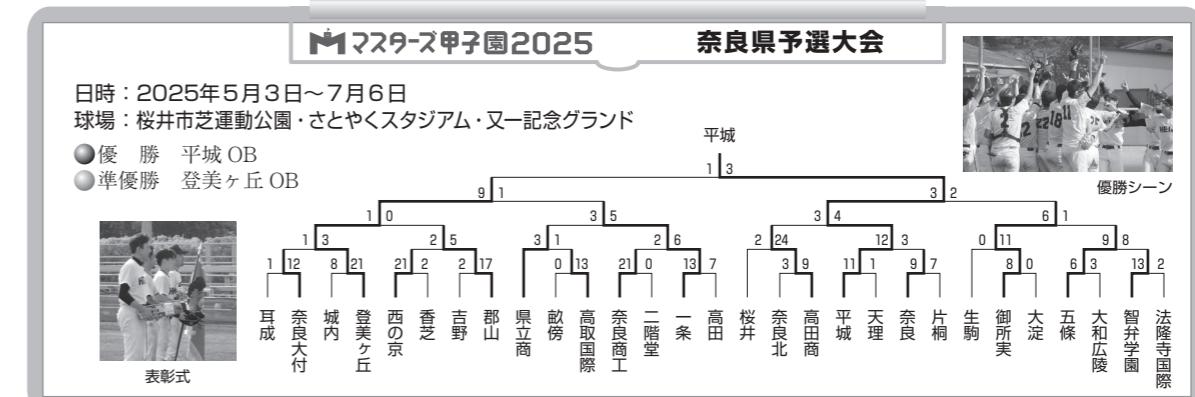
準決勝サヨナラシーン

TEAM

M
MASTERS
BASEBALL
IN KOSHIEI
2025

2022年に惜しまれつつ閉校。2023年にマスターズ甲子園初参入。「はじめまして」でスタートした初戦はその年の優勝校に大敗、波乱の船出となりました。OB会幹事の声掛けでメンバーが集まりだし、2024年にはベスト8、そして2025年に準々決勝から決勝まで全て逆転で駆け上がり、現役時代を通じて悲願の初優勝を果たしました。日を追うごとに高まる結束力が平城野球部の伝統。夢舞台甲子園で一勝し、一笑し、最後に皆で一杯やるぞ！

PLAY BACK



PLAYERS' PR

- 35 菊永裕樹：チームを束ねる熱き監督。大学では主将として全日本選手権、オールスター、ベストナイン等輝かしい実績を持つ。40歳間近の高校体育教師のプレイは現役さながら。母校の監督として甲子園出場を果たす、叶えられなかった菊永の夢が今日実現する。
- 26 野口肇：チーム最年長プレーヤー。県No.1と呼び声高い投手との投げ合いを制しチーム初のベスト8に導いたのは40年前。予選では全試合に登板、チームを鼓舞し流れを呼び込む57歳の魂の投球で甲子園の観客を魅了しろ。息子はオリックス・バファローズの野口智哉選手。
- 11 池見繁：1年秋から4番を務めた大型スラッガー。予選決勝では外野の頭を越える優勝決定打を放つ頼れる主砲。優勝の弁、池見は大会関係者への感謝を忘れない。教育関係に従事する43歳、甲子園でも俺たちの記憶に残る一打を放て。
- 2 千賀清弘：高校卒業後も大学・草野球チームでプレイ、現在は愛心のチームのコーチを務めるほどの野球好き。マス
- ターズ甲子園を通じて千賀の青春が再来。最高の地でプレーできる喜びを噛みしめ、全力で駆け回れ。
- 12 藤村隆司：マウンドで飘々と投げ込むサウスボーン。四隅を付く真っ直ぐと独特的な弧を描くスライダーを持つ平城のドクターK。銀行マン藤村は今月のノルマ件数以上の奪三振を狙う。
- 20 久保佑貴：予選準々決勝でチームの窮地を救う逆転サヨナラとなる殊勲打を放ち見事ヒーローに。現役時代は公式戦未勝利、悔しい経験も。持ち前の勝負強いシユアな打撃で、家族の前で再び甲子園のヒーローになれる。
- 44 當麻達郎：現役時代は1年秋からレギュラー出場も3年夏は出場叶わぬ。大学で基礎練習を見直し、見事全日本選手権出場。本大会予選は全試合先発登板、本塁打も放つなど大車輪の活躍。休日は草野球や中学生の指導に充てる野球小僧の原点はあの夏の悔しさ、全てを聖地に置いていく。

TEAM TOPICS

- 1999年から2008年まで監督を務めていた恩師である故・坂根康平監督（2021年没）へ甲子園一勝を届ける。
- 奈良県最北端に位置する文武両道の人気校であった。
- 学期末試験の成績が悪いと練習や試合への参加が認められず、勉強にも懸命に励む。
- 学園祭の後夜祭で実施された平城山花火大会は閉校した今も地域の方に愛される恒例行事として、毎年9月に実施されている。地域の方にも愛されている。
- 当校出身の主な著名人：関西テレビアナウンサーの山本大貴、タレントの元NMB48の渡辺美優紀、吉本新喜劇の高井俊彦（元ランディーズ）